

人工知能学会誌

Vol. 25 No. 4 (2010年7月)

目次

新会長就任挨拶

会長就任のご挨拶	西田 豊明	471
編集委員長就任のご挨拶	松原 仁	472

特集「オントロジーの進化と普及」(後編)

特集「オントロジーの進化と普及」後編にあたって	來村 徳信	473
オントロジー利用研究の分類と傾向分析	古崎 晃司	475
生物学関連のオントロジーの最新動向	榎屋 啓志	485
臨床医学知識処理を目指した医療オントロジー開発	大江 和彦・今井 健	493
SNOMED-CTとICD-11に見る医学・医療分野の Ready to Use Ontology	藤田 伸輔・今井 健	501
情報家電をより身近にするオントロジー	大沼 宏行・松平 正樹・細見 格・福重 貴雄・富岡 豊・野本 昌子	509
ものづくり情報連携におけるオントロジーの応用	西岡 靖之	518
目的指向プロセスのオントロジーの共通性に基づいた人工物機能と モバイルユーザー行動のモデリングとその応用	來村 徳信・笹嶋 宗彦・溝口 理一郎	526

特集「研究会総覧」

特集「研究会総覧」にあたって	津本 周作・栗原 聡	537
人工知能基本問題研究会 (SIG-FPAI)	山本 章博・平田 耕一	540
知識ベースシステム研究会 (SIG-KBS)	栗原 聡	541
言語・音声理解と対話処理研究会 (SIG-SLUD)	片桐 恭弘	543
先進的学習科学と工学研究会 (SIG-ALST)	平嶋 宗	544
AI チャレンジ研究会 (SIG-Challenge)	中臺 一博・光永 法明	545
ことば工学研究会 (SIG-LSE)	阿部 明典	547
セマンティックウェブとオントロジー研究会 (SIG-SWO)	武田 英明	549
社会における AI 研究会 (SIG-SAI)	神成 淳司・松原 仁	551
データマイニングと統計数理研究会 (SIG-DMSM)	神島 敏弘	552
分子生物情報研究会 (SIG-MBI)	佐藤 賢二・小長谷 明彦	554
幼児のコモンセンス知識研究会 (SIG-ICK)	竹林 洋一	555
知識・技術・技能の伝承支援研究会 (SIG-KST)	稗方 和夫	557
ナチュラルコンピューティング研究会 (SIG-NAC)	鈴木 泰博	559
知識流通ネットワーク研究会 (SIG-KSN)	山本 修一郎	561
ファイナンスにおける人工知能応用研究会 (SIG-FIN)	鳥海 不二夫	563
身体知研究会 (SIG-SKL)	藤波 努	565
プロジェクト指向研究会 (SIG-PJT)	津本 周作・栗原 聡	567
進化計算フロンティア研究会 (SIG-ECF)	伊庭 斉志	569
情報編纂研究会 (SIG-IC)	加藤 恒昭	570

解 説

転移学習	神島 敏弘	572
ソーシャル eサイエンスと総合学術オントロジー	橋田 浩一・武田 英明・長尾 確・小橋 康章	581

レクチャーシリーズ:「サービスイノベーションと AI と教育」[第2回]

東京工業大学におけるサービスイノベーション人材育成推進事業	木嶋 恭一・岡安 英俊	589
-------------------------------	-------------	-----

私のブックマーク

ヒューマンファクター	狩川 大輔	596
------------	-------	-----

学生フォーラム

「現場主義というスタイル」植田一博氏		601
--------------------	--	-----

書 評		607
文 献 紹 介		609
カレンダー		612

会 告		1 ~ 16
-----	--	--------

【ことば工学研究領域相関図】

ことば工学研究会はことばに関する研究、特に感性が内在することばを扱うことに関する研究を基本としている。したがって、例えば、ことばのデザイン、ことば遊び、文学作品などの観賞、生成に関する研究を行う。また、感性を扱うための辞書の生成も扱っている。このように、いわゆる学際的領域を研究対象としている。感性を扱うための辞書を中心に据えてことば工学の研究領域(すべてではないが)を鳥瞰すると、この図のようになる。さまざまな分野が絡み合っておりことば工学が研究されていることがわかれると思う(特集:「研究会総覧」pp. 547-548より)。